

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和7年第34週(8月18日～8月24日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	32週	33週	34週	34週	34週
インフルエンザ	0.33	0	0	0.45	0.31
新型コロナウイルス感染症	21.00	8.67	27.00	14.78	8.73
RSウイルス感染症	0	0	1.50	0.71	0.77
咽頭結膜熱	●4.00	0.50	1.50	0.45	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.50	1.50	2.50	1.42	1.34
感染性胃腸炎	8.50	4.00	3.50	2.13	4.08
水痘	▲1.00	0	0.50	0.48	0.26
手足口病	0	0	0	0.10	0.46
伝染性紅斑	0	1.00	0	●2.94	2.07
突発性発疹	2.00	0	1.00	0.39	0.34
ヘルパンギーナ	●2.00	0	0	0.26	0.97
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0.04
急性出血性結膜炎				0	0.01
流行性角結膜炎				3.38	1.14
細菌性髄膜炎	0	0	0	0.08	0.03
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.08	0.07
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.58	0.98
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0.00

急性呼吸器感染症 (ARI)	61.00	27.67	58.67	60.75	47.57
----------------	-------	-------	-------	-------	-------

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】 新型コロナウイルス感染症に注意しましょう。

長崎県の第34週の報告数は754人で、定点当たり報告数は14.78でした。地区別にみると、対馬地区(27.67)、県北地区(27.00)、上五島地区(21.00)は他の地区より多くなっています。ほとんどの地区で前週より増加していますので、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【トピックス】 伝染性紅斑が流行しています。

長崎県の第34週の報告数は91人で定点当たり報告数は2.94となり、3週続けて警報レベルの報告数となりました。地区別では、10保健所中6保健所で警報レベルの報告数となっています。

本疾患は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん(紅斑)、体や手足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。一方で、これまで感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児の異常や流産のリスクとなる可能性がありますので、注意が必要です。感染経路は、飛沫感染や接触感染ですので、手洗いやマスクの適切な着用など感染予防に努めましょう。

【トピックス】 マダニやツツガムシが媒介する感染症に注意しましょう。

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。マダニ類は「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」を媒介し、ツツガムシ類は「つつが虫病」を媒介します。

マダニ類が媒介する日本紅斑熱は、発熱・発疹が主な症状で、ダニの刺し口が多くの患者で認められます。県内では2025年第34週までに16件の報告があり、過去5年の同時期と比較して、多く報告があがっています。

マダニ等が媒介する感染症の予防には、ダニに咬まれないことが重要です。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避け、マダニに有効な虫よけ剤を使用して感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診した医療機関では、咬まれた状況などをできるだけ詳細に説明しましょう。